第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」策定に係る
障がい当事者アンケート

1.調査の目的

第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定にあたり、障がいのある本人が、日々の暮らしや地域との関わりについてどのように感じ、何を大切にしているのかを把握するため、アンケート調査を実施した。

本調査は、障がいのある人を「支援される側」としてのみ捉えるのではなく、一人の地域住民として、その人自身の希望や意見を地域づくりに反映することを目的としたものである。

2.調査から見えてきたこと

本人からの回答を通じて、障がいのある人が地域で暮らす中で感じていることや、地域の中で誰かと関わりたい、できることを増やしたい、さまざまな活動に参加してみたいといった思いがある一方、参加するきっかけや機会、周囲との関わり方などに難しさを感じている状況もうかがえる。

これらの結果は、地域福祉を「困っている人を支える」という視点だけでなく、本人がどのように暮らしたいのか、何をしてみたいのかという視点から考えることの必要性を示している。

第5期では、こうした本人の声を地域づくりの出発点の一つとして捉え、障がいの有無にかかわらず、一人ひとりの意思や選択が尊重され、地域の中で役割やつながりを持ちながら暮らすことのできる地域のあり方を考えていく。

3.調査概要

(1)調査対象

登別市障害者福祉関係団体連絡協議会(以下、障団連という)会員の障がいのある本人

(2)調査期間

令和８年8月3日～令和８年8月21日

(3)配布数・回答数・回収率

配布数:71件、回答数:33件、回収率:46.5%

(4)調査方法

障団連加盟団体から会員への配布・回収

(5)集計・分析方法

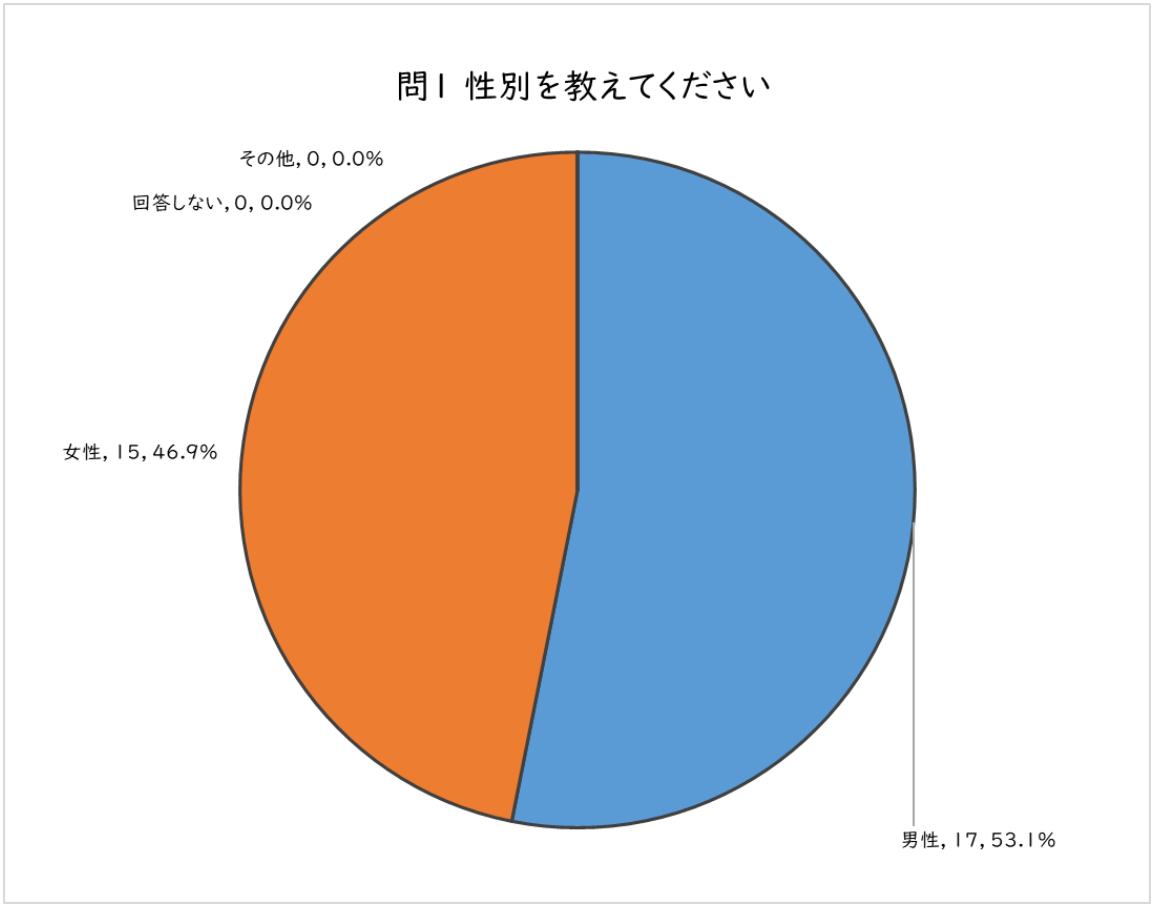
各設問について回答数及び割合を集計した。必要に応じて回答者の属性等とのクロス集計を行い、回答傾向を整理した。

自由記載については、本人の表現をできる限り尊重しながら内容を整理して掲載した。

なお、回答方法や回答可能な設問は本人によって異なる場合があるため、設問ごとに有効回答数を確認したうえで割合を算出している。割合は端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。

問1　性別を教えてください

選択肢･項目	回答数	割合
男性	17	53.1%
女性	15	46.9%
その他	0	0.0%
回答しない	0	0.0%

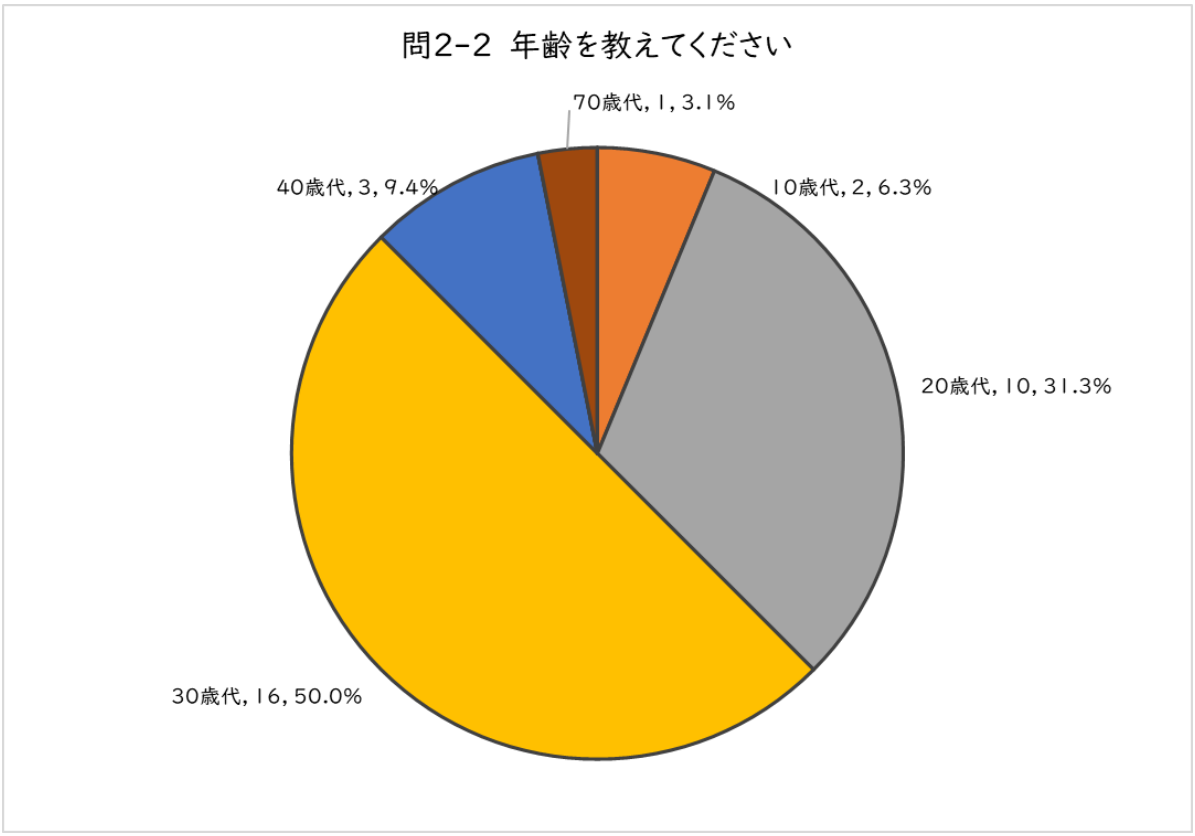


問2 年齢を教えてください

選択肢・項目	回答数	平均
回答値	32 件	31.8 歳

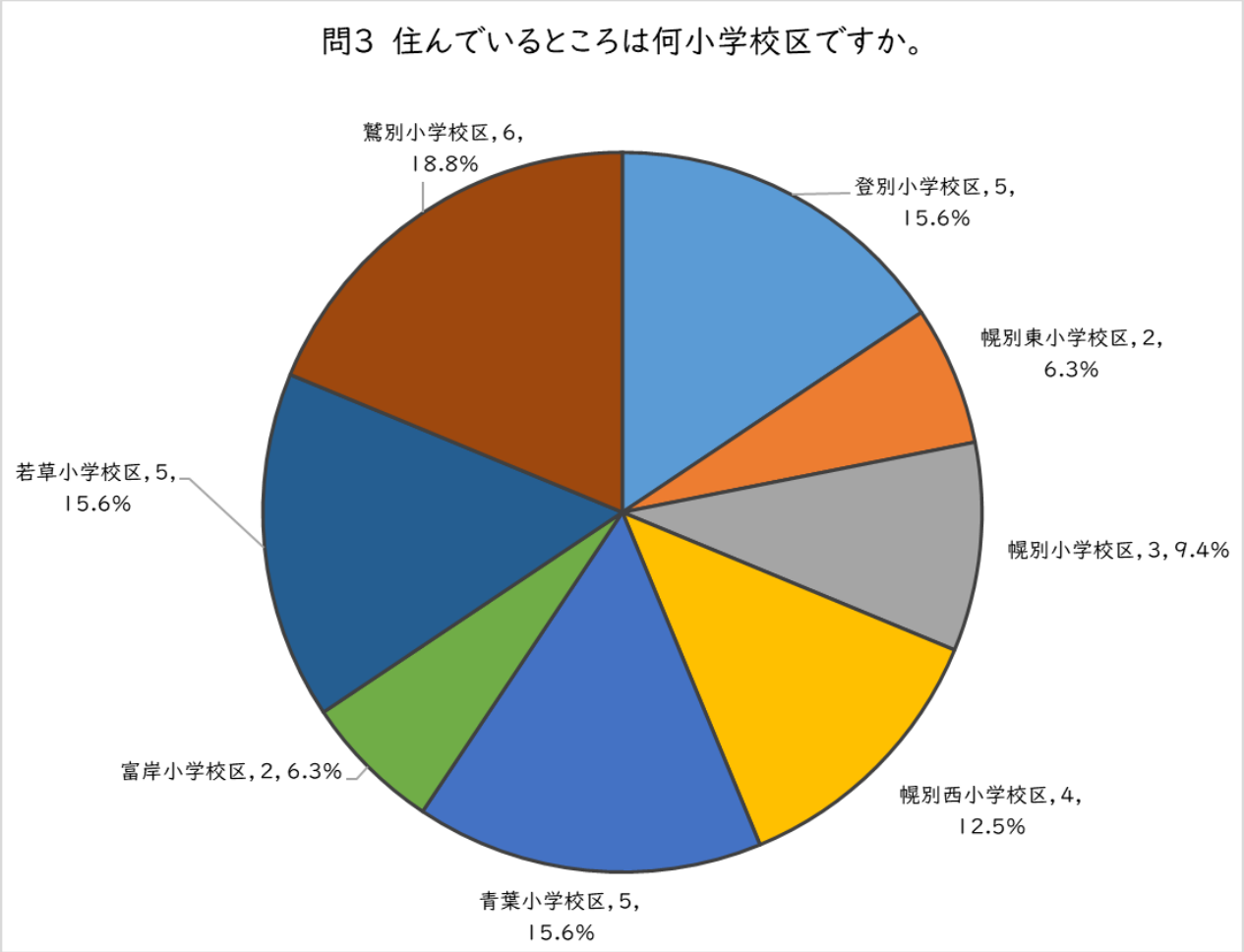
問2-2 年齢を教えてください

選択肢・項目	回答数	割合
0~9歳	0	0.0%
10歳代	2	6.3%
20歳代	10	31.3%
30歳代	16	50.0%
40歳代	3	9.4%
50歳代	0	0.0%
60歳代	0	0.0%
70歳代	1	3.1%
80歳代以上	0	0.0%



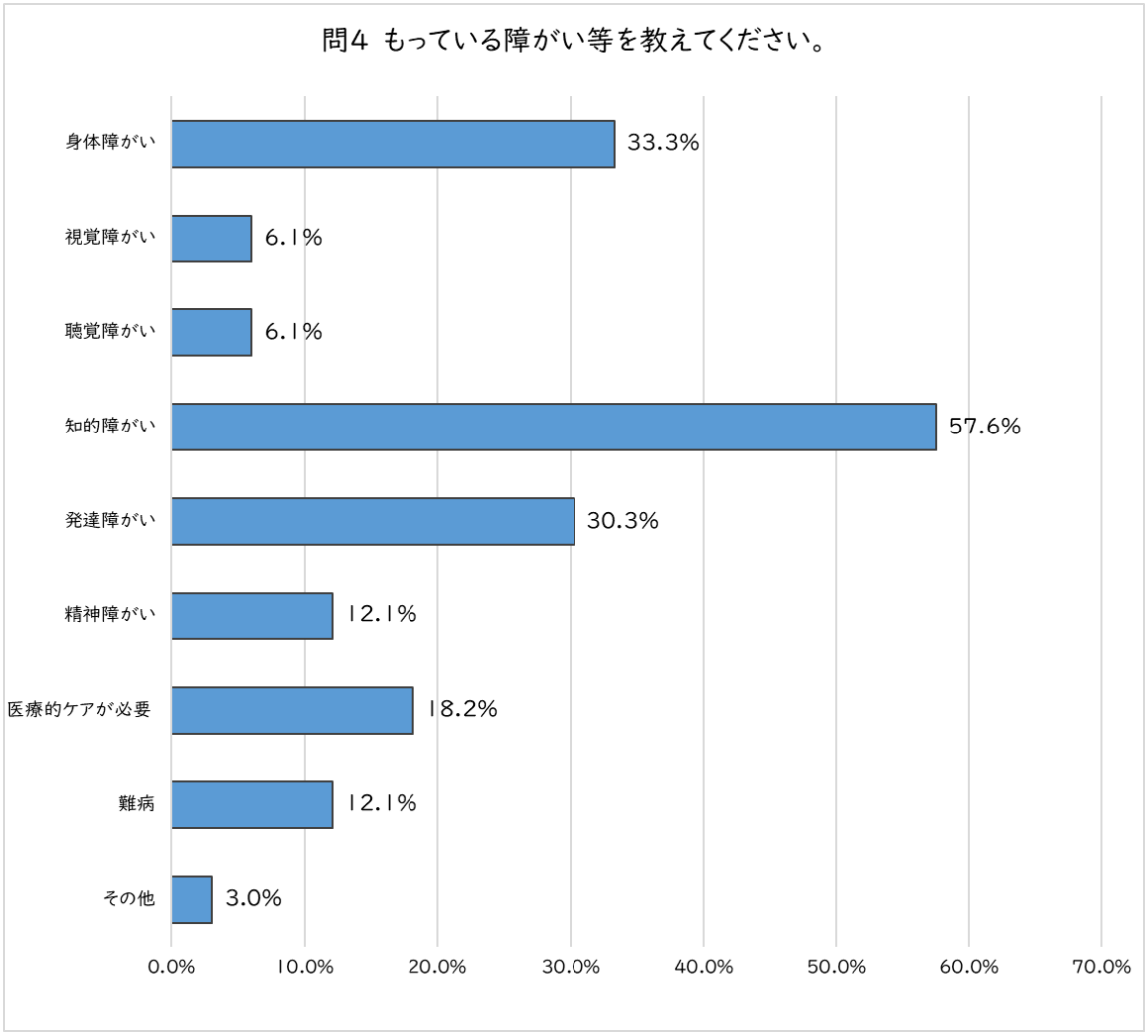
問3住んでいるところは何小学校区ですか。

選択肢･項目	回答数	割合
登別小学校区	5	15.6%
幌別東小学校区	2	6.3%
幌別小学校区	3	9.4%
幌別西小学校区	4	12.5%
青葉小学校区	5	15.6%
富岸小学校区	2	6.3%
若草小学校区	5	15.6%
鷲別小学校区	6	18.8%



問4 もっている障がい等を教えてください。

選択肢･項目	回答数	割合
身体障がい	11	33.3%
視覚障がい	2	6.1%
聴覚障がい	2	6.1%
知的障がい	19	57.6%
発達障がい	10	30.3%
精神障がい	4	12.1%
医療的ケアが必要	6	18.2%
難病	4	12.1%
その他	1	3.0%



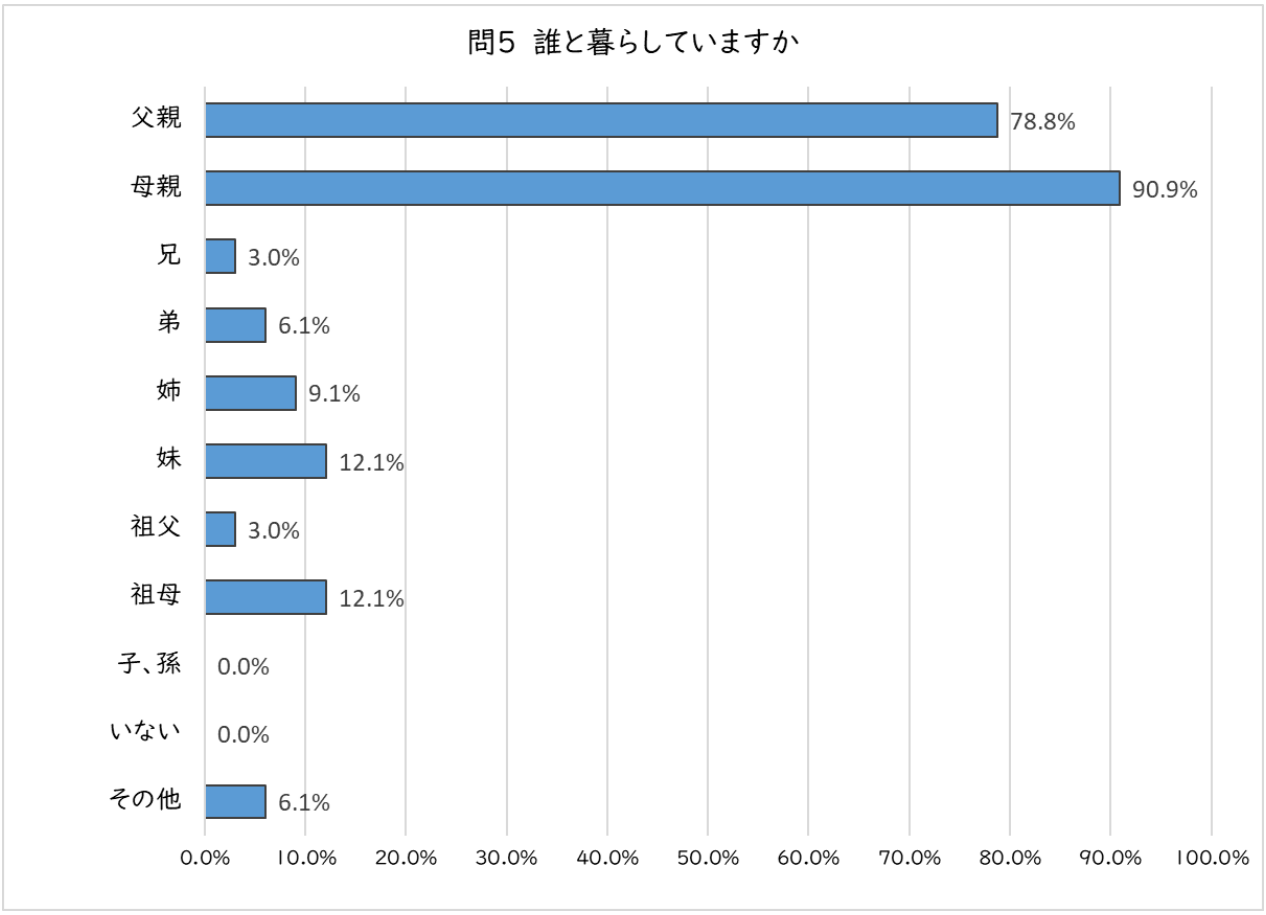
問5 誰と暮らしていますか（いくつでも）

選択肢･項目	回答数	割合
父親	26	78.8%
母親	30	90.9%
兄	1	3.0%
弟	2	6.1%
姉	3	9.1%
妹	4	12.1%
祖父	1	3.0%
祖母	4	12.1%
子、孫	0	0.0%
いない	0	0.0%
その他	2	6.1%

自由記載：

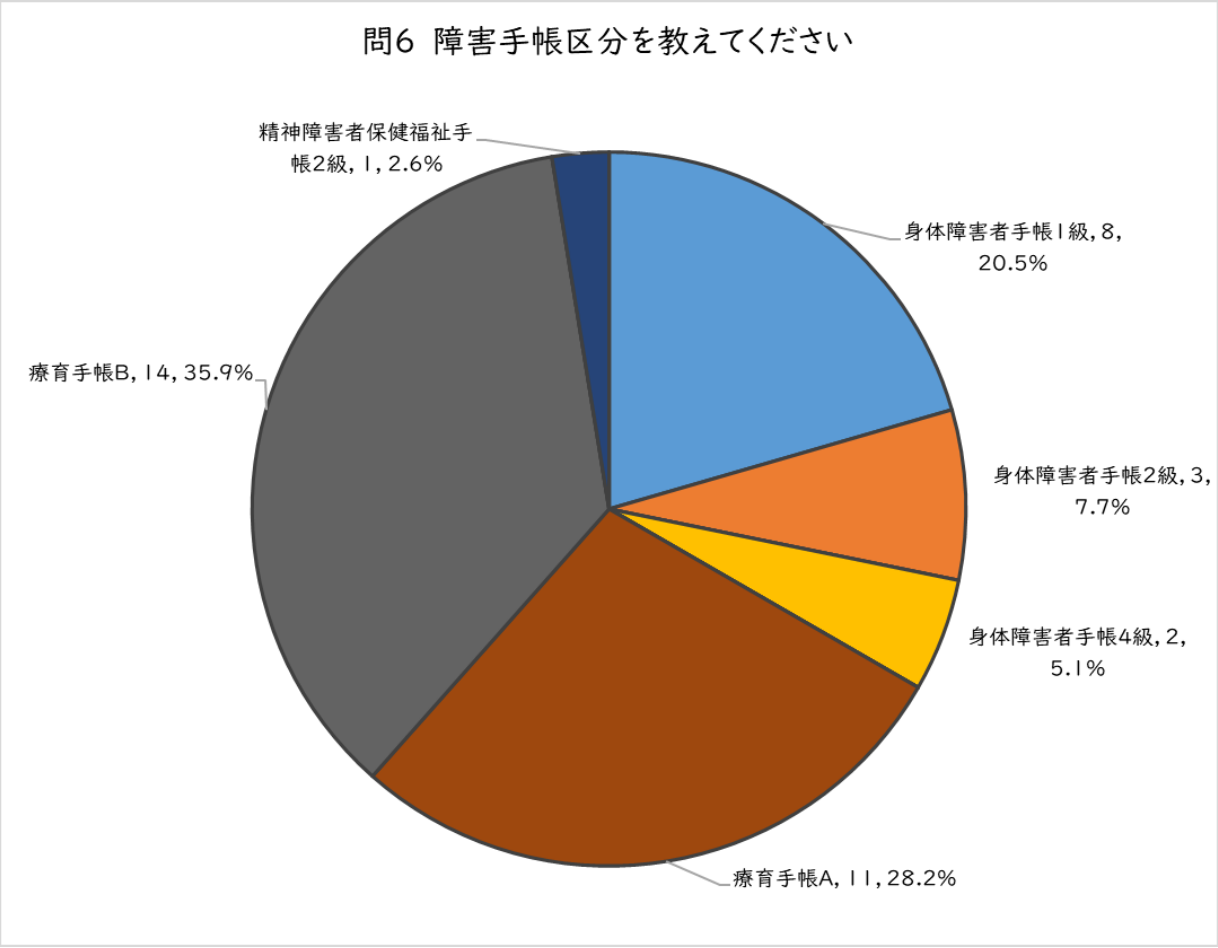
・子ども2名、配偶者

・夫の



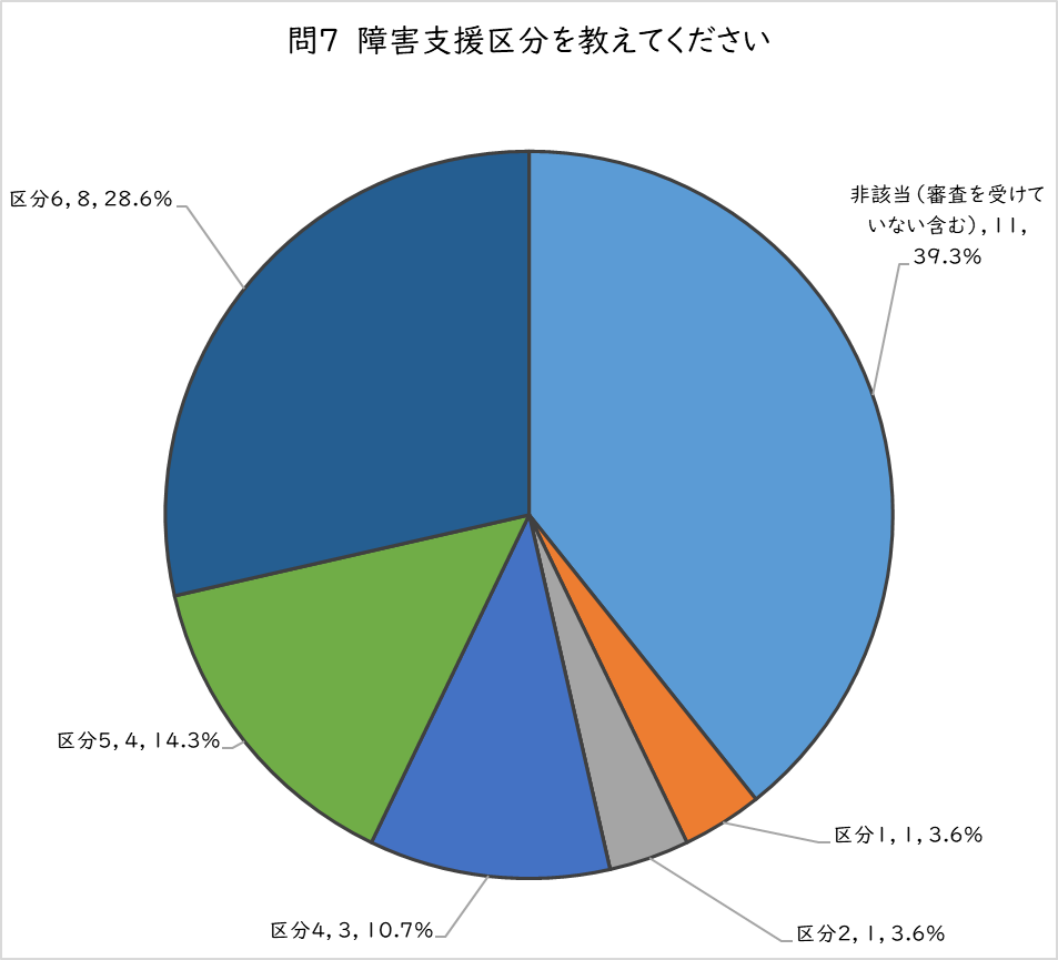
問6 障害手帳区分を教えてください（いくつでも）

選択肢・項目	回答数	割合
身体障害者手帳1級	8	24.2%
身体障害者手帳2級	3	9.1%
身体障害者手帳3級	0	0.0%
身体障害者手帳4級	2	6.1%
身体障害者手帳5級	0	0.0%
身体障害者手帳6級	0	0.0%
身体障害者手帳7級	0	0.0%
療育手帳A	11	33.3%
療育手帳B	14	42.4%
精神障害者保健福祉手帳1級	0	0.0%
精神障害者保健福祉手帳2級	1	3.0%
精神障害者保健福祉手帳3級	0	0.0%



問7障害支援区分を教えてください（1つ）

選択肢・項目	回答数	割合
非該当（審査を受けていない含む）	11	39.3%
区分1	1	3.6%
区分2	1	3.6%
区分3	0	0.0%
区分4	3	10.7%
区分5	4	14.3%
区分6	8	28.6%



問8 ふだん、よく過ごす場所はどこですか。(いくつでも)

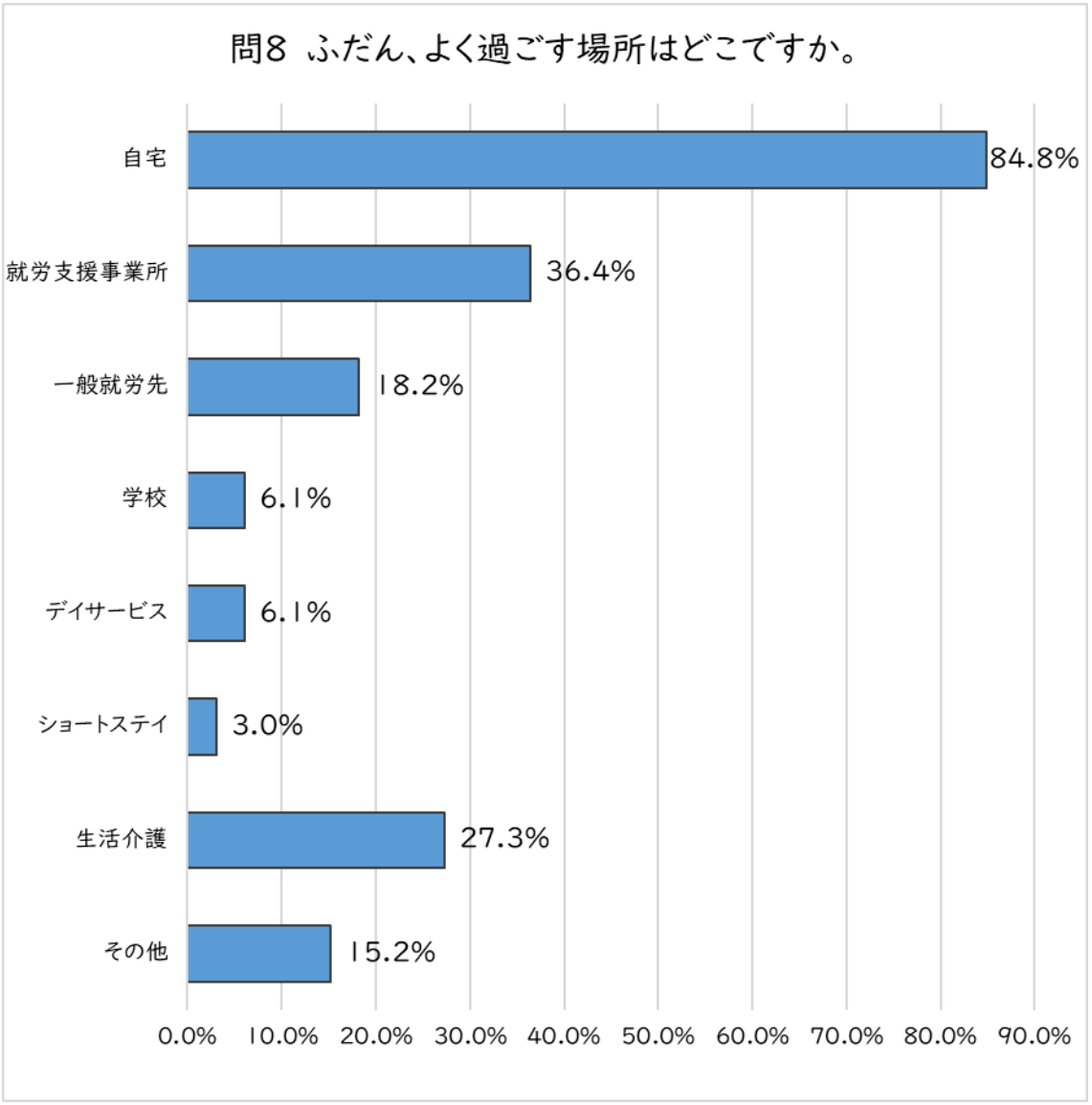
選択肢・項目	回答数	割合
自宅	28	84.8%
就労支援事業所	12	36.4%
一般就労先	6	18.2%
学校	2	6.1%
デイサービス	2	6.1%
ショートステイ	1	3.0%
生活介護	9	27.3%
その他	5	15.2%

自由記載:

・図書館・ショッピングセンター・BOOK OFF・イオン・ミスド等…

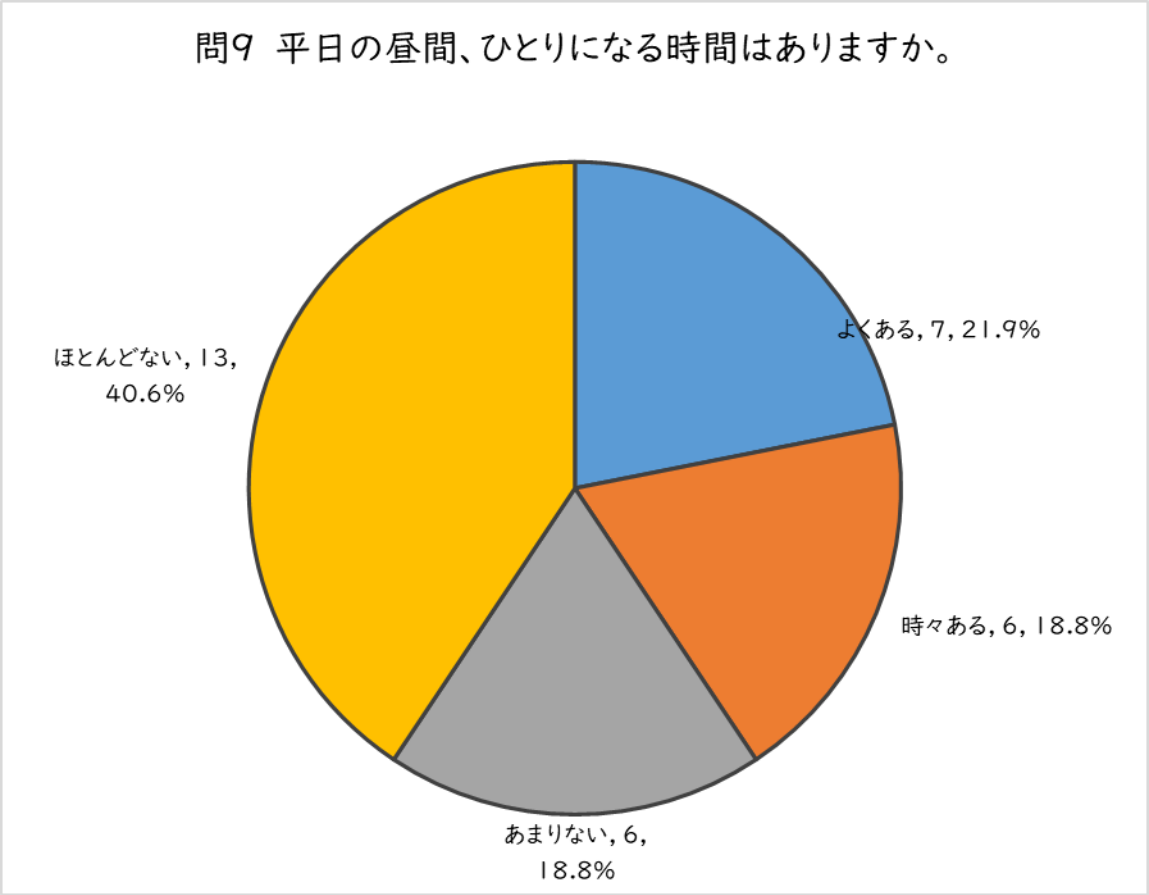
・外

・1, グループホーム



問9 平日の昼間、ひとりになる時間はありますか。(1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
よくある	7	21.9%
時々ある	6	18.8%
あまりない	6	18.8%
ほとんどない	13	40.6%

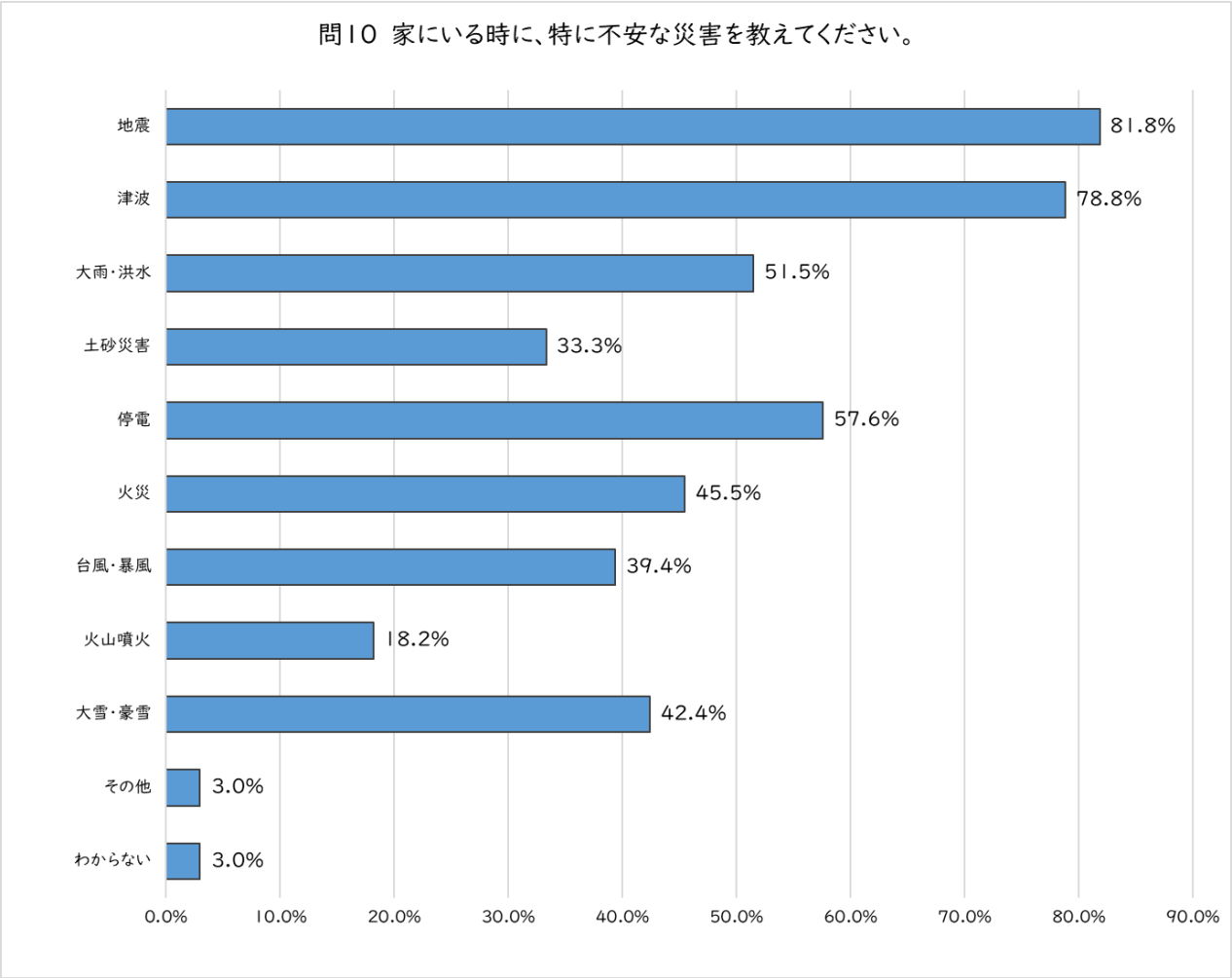


問10 家にいる時に、特に不安な災害を教えてください。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
地震	27	81.8%
津波	26	78.8%
大雨・洪水	17	51.5%
土砂災害	11	33.3%
停電	19	57.6%
火災	15	45.5%
台風・暴風	13	39.4%
火山噴火	6	18.2%
大雪・豪雪	14	42.4%
その他	1	3.0%
わからない	1	3.0%

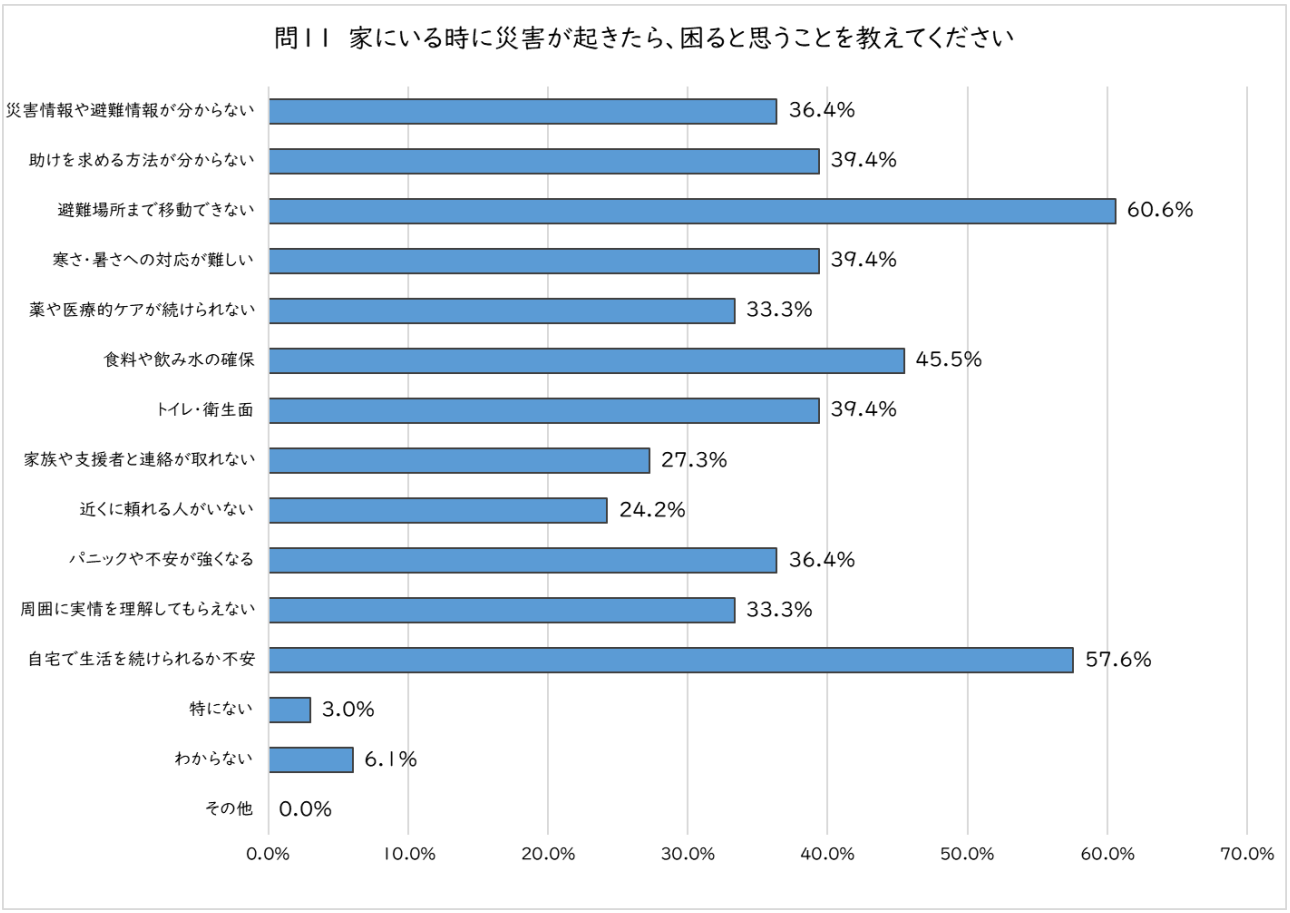
自由記載:

・1, 人災(戦争のニュースや事件など近所近隣であったときなど)



問11　家にいる時に災害が起きたら、困ると思うことを教えてください（いくつでも）

選択肢・項目	回答数	割合
災害情報や避難情報が分からない	12	36.4%
助けを求める方法が分からない	13	39.4%
避難場所まで移動できない	20	60.6%
寒さ・暑さへの対応が難しい	13	39.4%
薬や医療的ケアが続けられない	11	33.3%
食料や飲み水の確保	15	45.5%
トイレ・衛生面	13	39.4%
家族や支援者と連絡が取れない	9	27.3%
近くに頼れる人がいない	8	24.2%
パニックや不安が強くなる	12	36.4%
周囲に実情を理解してもらえない	11	33.3%
自宅で生活を続けられるか不安	19	57.6%
特にない	1	3.0%
わからない	2	6.1%
その他	0	0.0%



問12 避難所で生活するときに困ると思うことはありますか。(いくつでも)

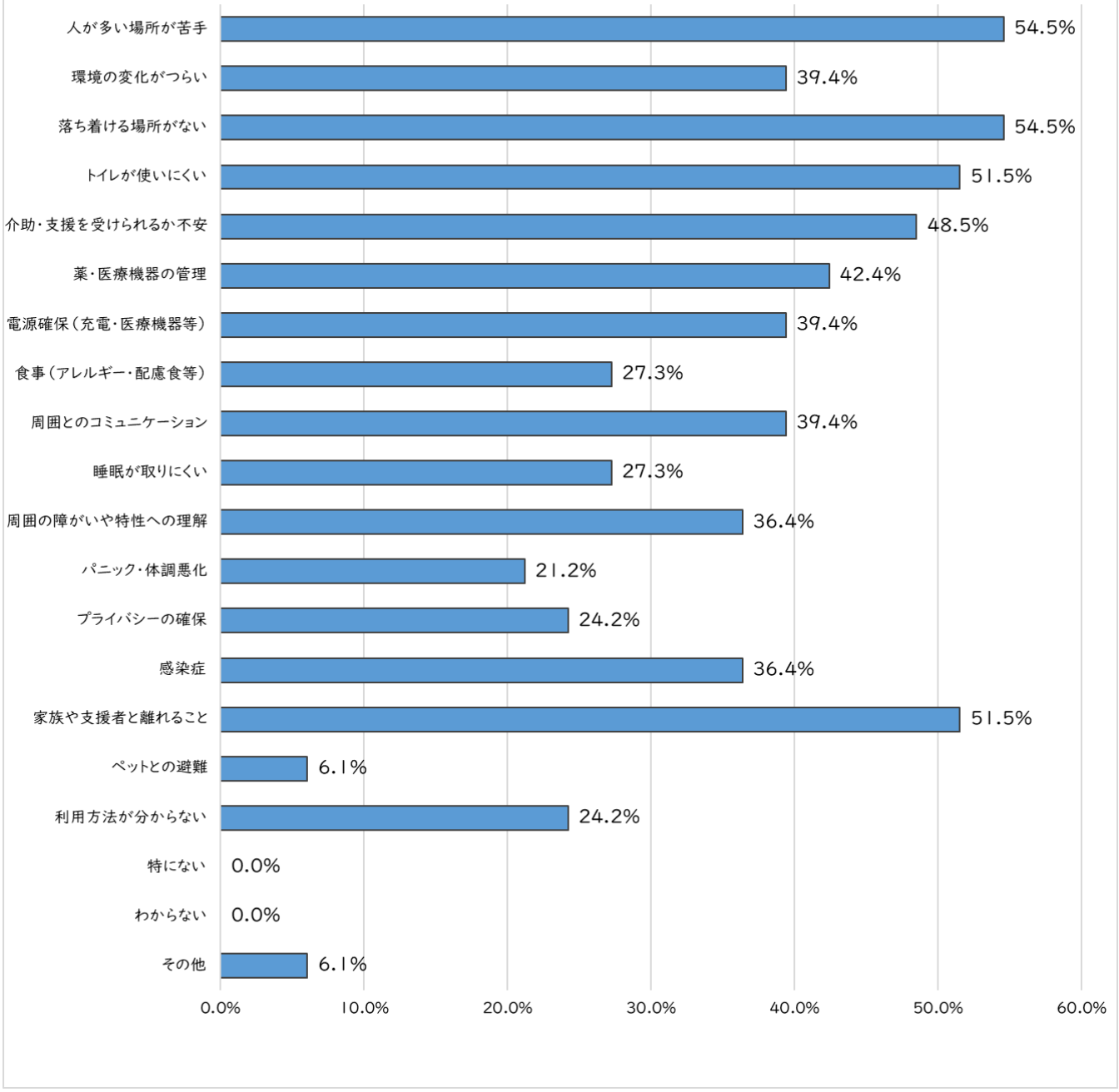
選択肢・項目	回答数	割合
人が多い場所が苦手	18	54.5%
環境の変化がつらい	13	39.4%
落ち着ける場所がない	18	54.5%
トイレが使いにくい	17	51.5%
介助・支援を受けられるか不安	16	48.5%
薬・医療機器の管理	14	42.4%
電源確保(充電・医療機器等)	13	39.4%
食事(アレルギー・配慮食等)	9	27.3%
周囲とのコミュニケーション	13	39.4%
睡眠が取りにくい	9	27.3%
周囲の障がいや特性への理解	12	36.4%
パニック・体調悪化	7	21.2%
プライバシーの確保	8	24.2%
感染症	12	36.4%
家族や支援者と離れること	17	51.5%
ペットとの避難	2	6.1%
利用方法が分からない	8	24.2%
特にない	0	0.0%
わからない	0	0.0%
その他	2	6.1%

自由記載:

・暑さ対策 マスクかアルコール、消毒液などあると便利、大声を出す時があるので 暑さ、寒さ、衣類の着替え、身体の汚れ(オムツ使用)、オムツのニオイ、車いすで全介助なのでベットがあれば助かる。電気水やお湯があると助かる。

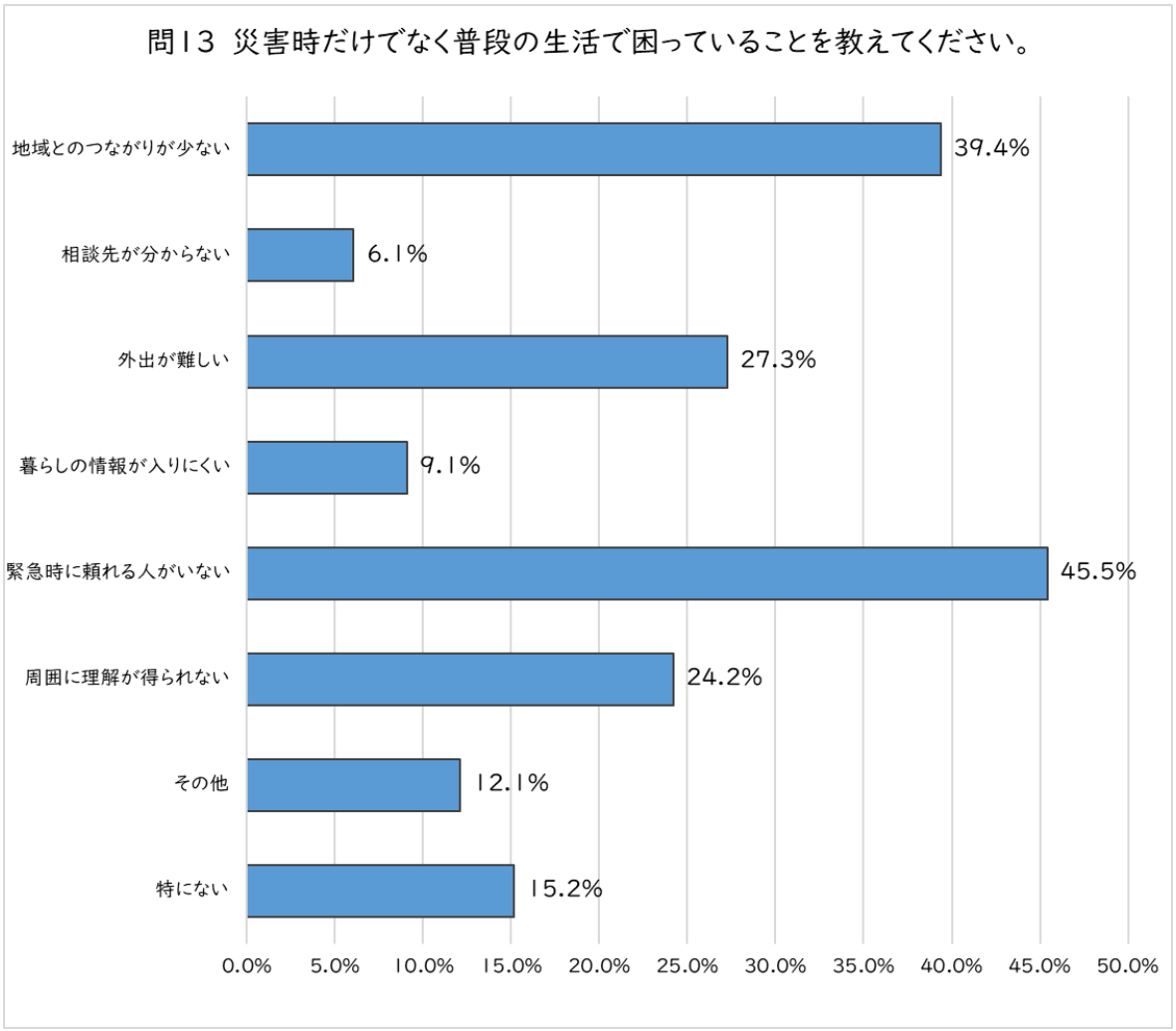
・ベットが真っすぐな事。自分では座れなので、横になる時はギャッジアップするので。

問12 避難所で生活するときに困ると思うことはありますか。



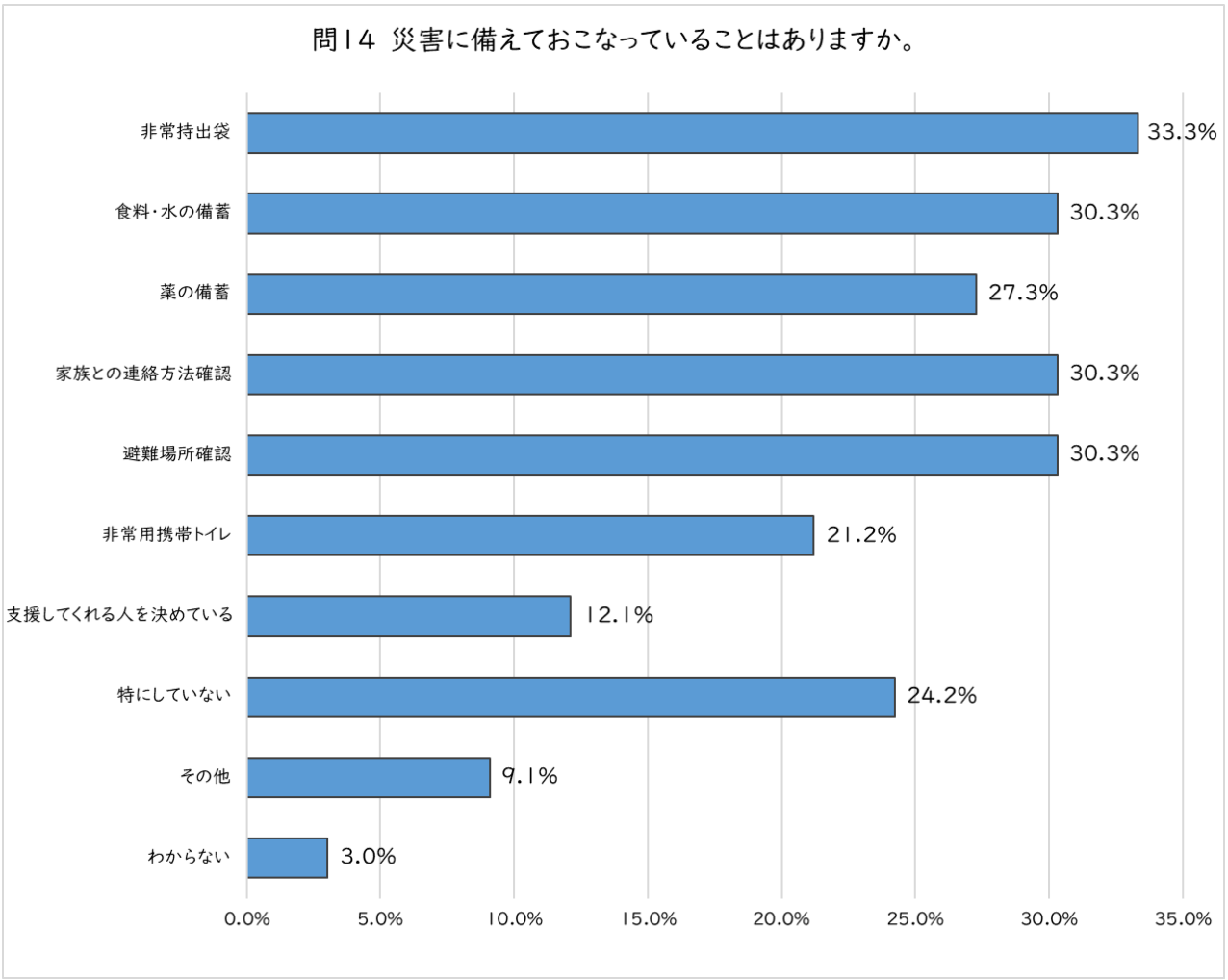
問13 災害時だけでなく普段の生活で困っていることを教えてください。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
地域とのつながりが少ない	16	48.5%
相談先が分からない	7	21.2%
外出が難しい	8	24.2%
暮らしの情報が入りにくい	4	12.1%
緊急時に頼れる人がいない	12	36.4%
周囲に理解が得られない	10	30.3%
その他	4	12.1%
特にない	2	6.1%



問14 災害に備えておこなっていることはありますか。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
非常持出袋	11	33.3%
食料・水の備蓄	10	30.3%
薬の備蓄	9	27.3%
家族との連絡方法確認	10	30.3%
避難場所確認	10	30.3%
非常用携帯トイレ	7	21.2%
支援してくれる人を決めている	4	12.1%
特にしていない	8	24.2%
その他	3	9.1%
わからない	1	3.0%



問15 災害時に支援をお願いできる人はいますか。(いくつでも)

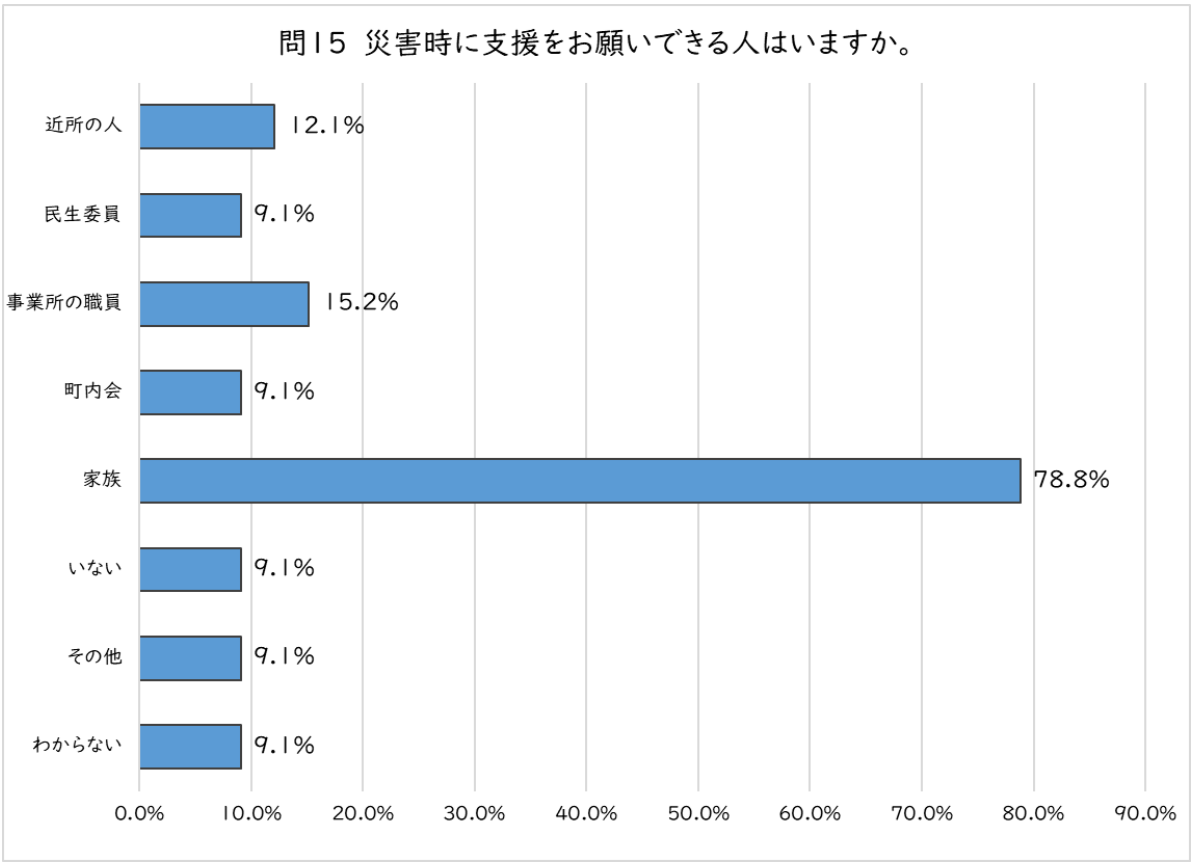
選択肢･項目	回答数	割合
近所の人	4	12.1%
民生委員	3	9.1%
事業所の職員	5	15.2%
町内会	3	9.1%
家族	26	78.8%
いない	3	9.1%
その他	3	9.1%
わからない	3	9.1%

自由記載:

･1,親戚

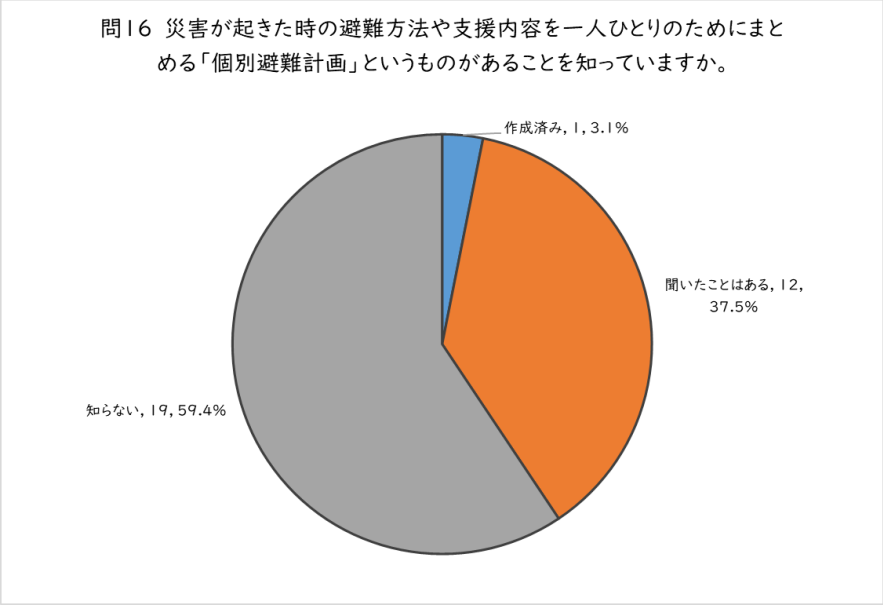
･1,グループホームの人達

･1,就労支援施設の職員



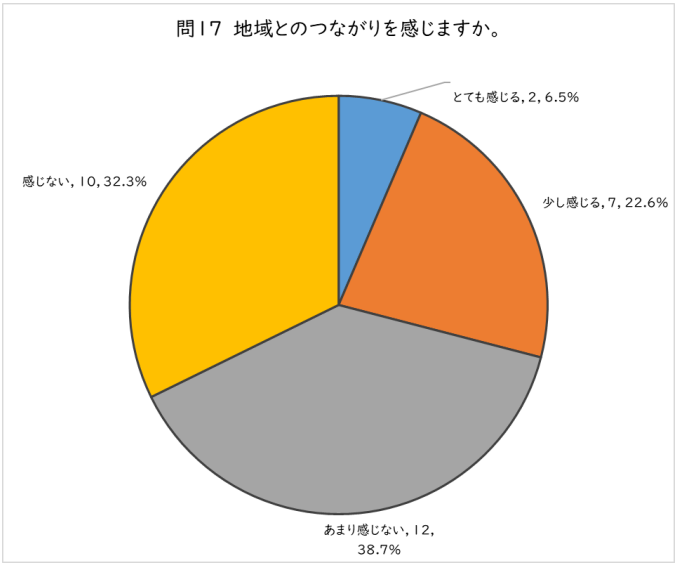
問16 災害が起きた時の避難方法や支援内容を一人ひとりのためにまとめる「個別避難計画」というものがあることを知っていますか。(1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
作成済み	1	3.1%
聞いたことはある	12	37.5%
知らない	19	59.4%



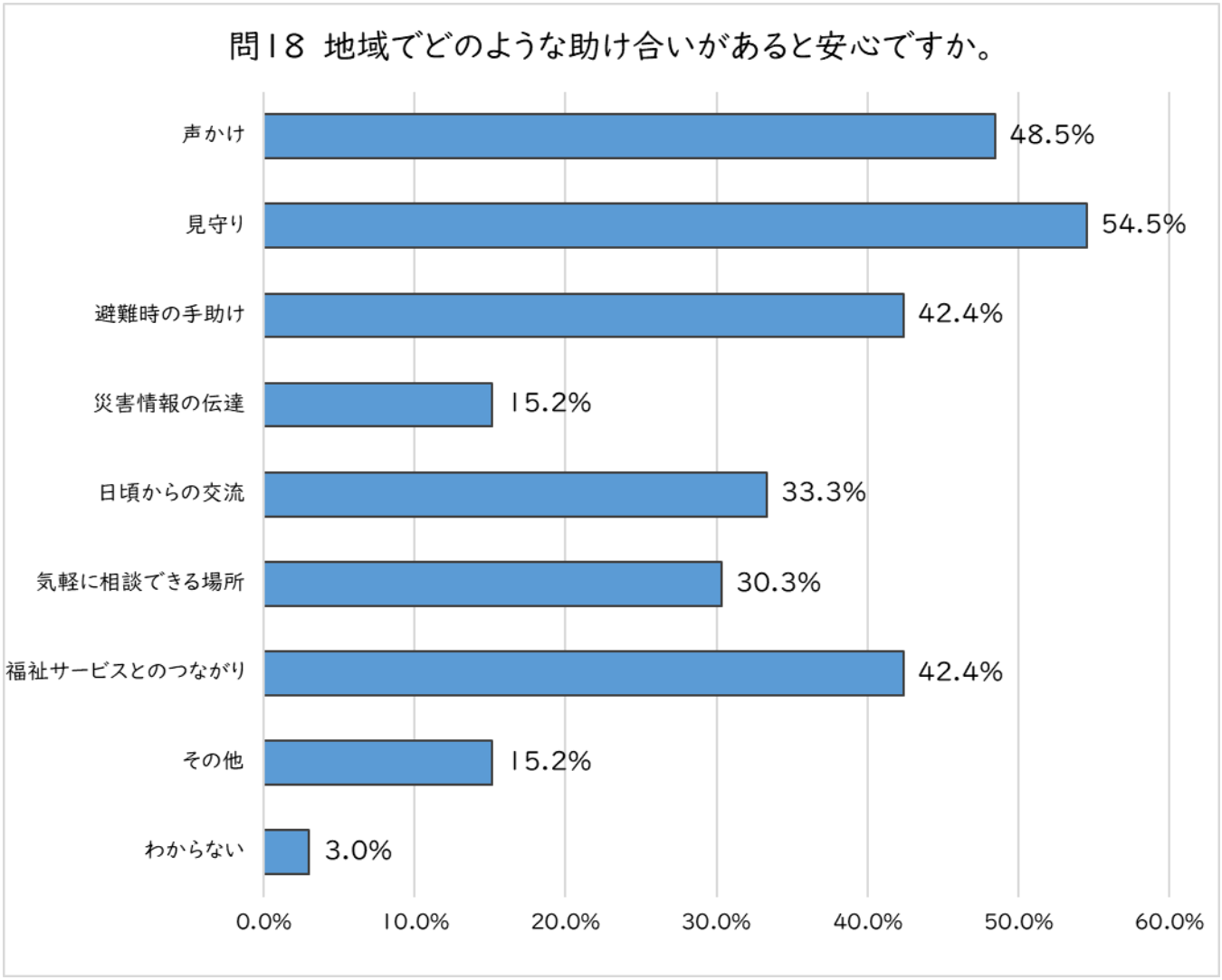
問17 地域とのつながりを感じますか。(1つ)

選択肢・項目	回答数	割合
とても感じる	2	6.5%
少し感じる	7	22.6%
あまり感じない	12	38.7%
感じない	10	32.3%



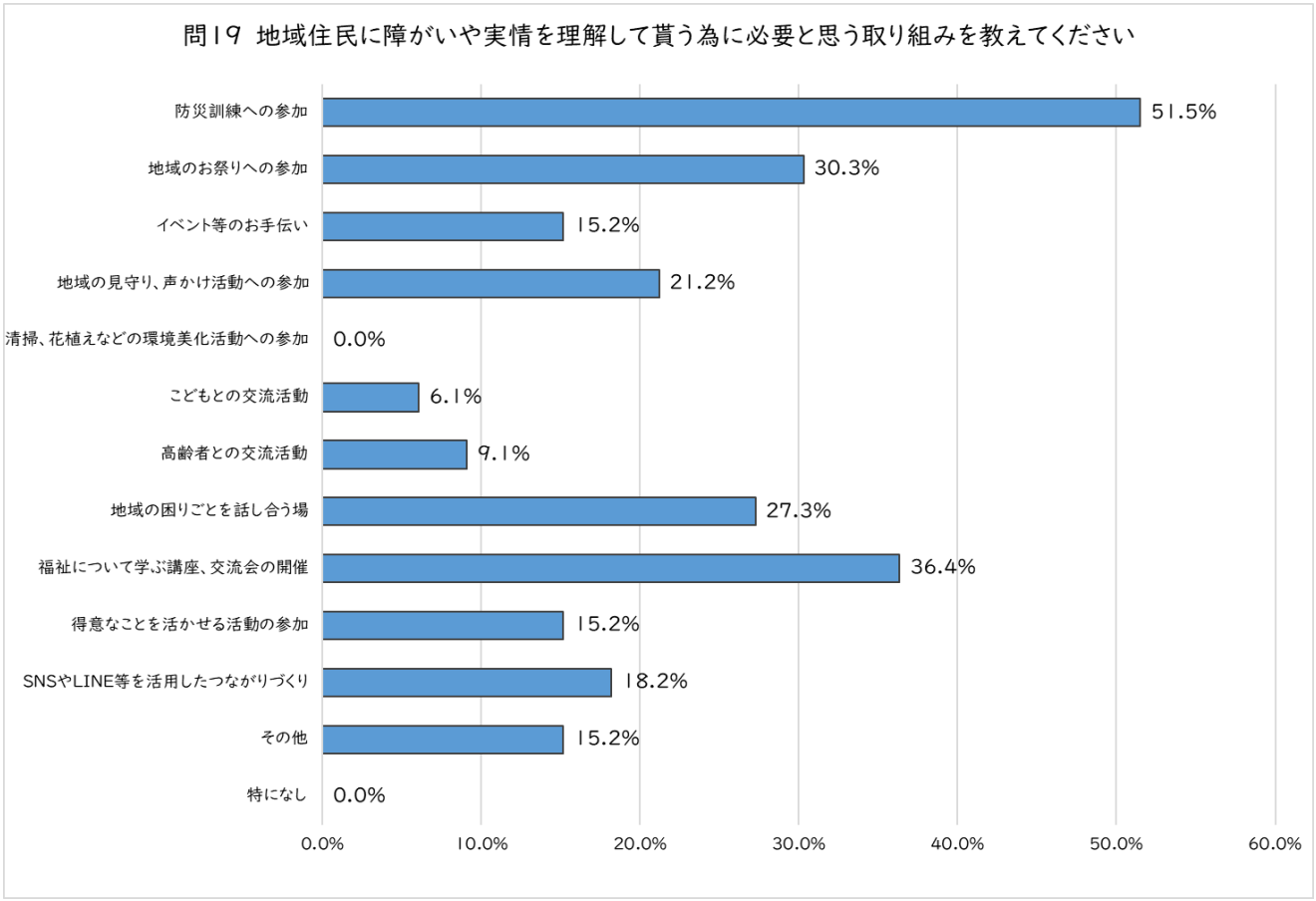
問18 地域でどのような助け合いがあると安心ですか。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
声かけ	16	48.5%
見守り	18	54.5%
避難時の手助け	14	42.4%
災害情報の伝達	5	15.2%
日頃からの交流	11	33.3%
気軽に相談できる場所	10	30.3%
福祉サービスとのつながり	14	42.4%
その他	5	15.2%
わからない	1	3.0%



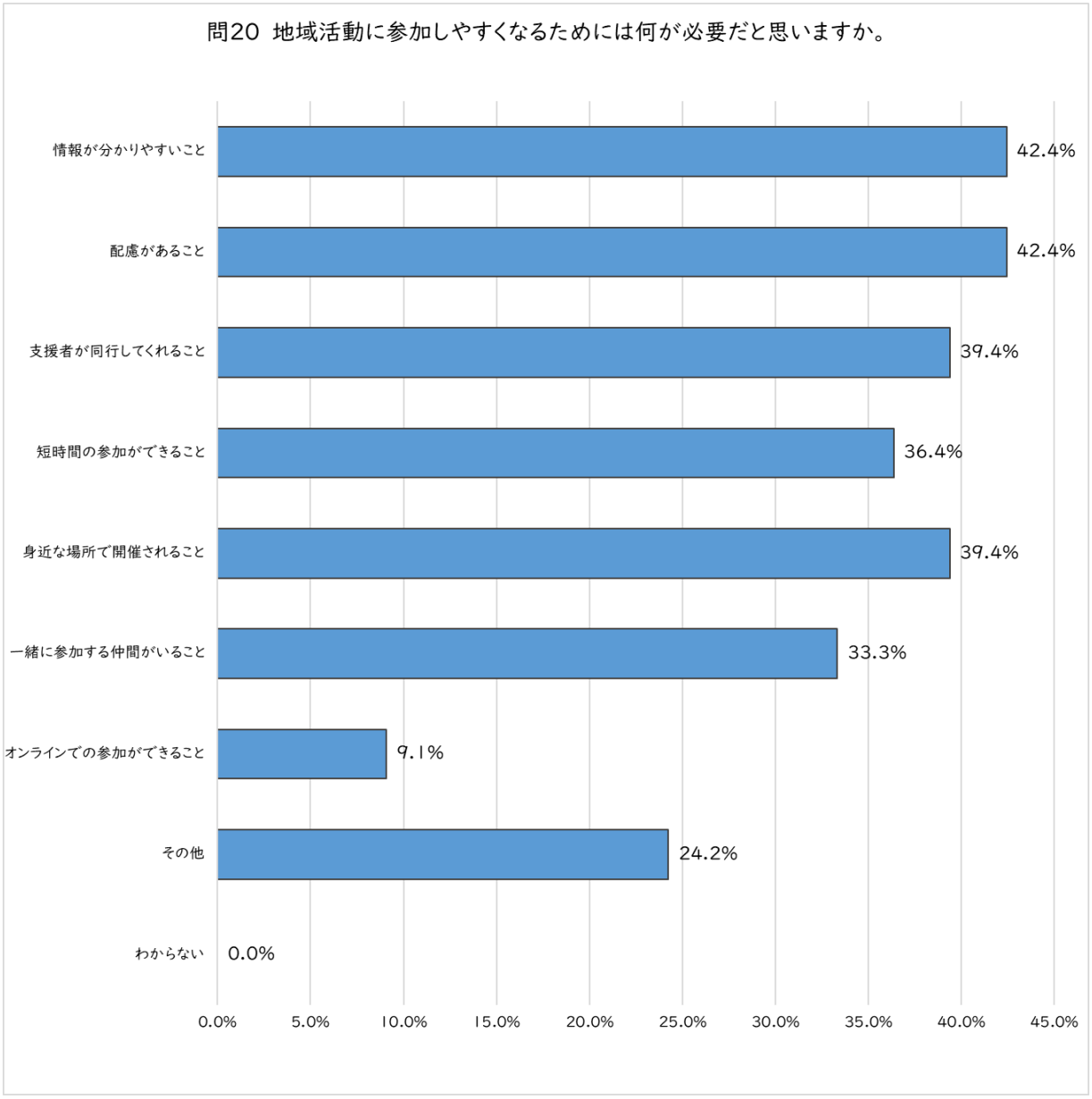
問19 地域住民に障がいや実情を理解して貰う為に必要と思う取り組みを教えてください。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
防災訓練への参加	17	51.5%
地域のお祭りへの参加	10	30.3%
イベント等のお手伝い	5	15.2%
地域の見守り、声かけ活動への参加	7	21.2%
清掃、花植えなどの環境美化活動への参加	0	0.0%
こどもとの交流活動	2	6.1%
高齢者との交流活動	3	9.1%
地域の困りごとを話し合う場	9	27.3%
福祉について学ぶ講座、交流会の開催	12	36.4%
得意なことを活かせる活動の参加	5	15.2%
SNSやLINE等を活用したつながりづくり	6	18.2%
その他	5	15.2%
特になし	0	0.0%



問20 地域活動に参加しやすくなるためには何が必要だと思いますか。(いくつでも)

選択肢・項目	回答数	割合
情報が分かりやすいこと	14	42.4%
配慮があること	13	39.4%
支援者が同行してくれること	12	36.4%
短時間の参加ができること	11	33.3%
身近な場所で開催されること	12	36.4%
一緒に参加する仲間がいること	10	30.3%
オンラインでの参加ができること	3	9.1%
その他	8	24.2%
わからない	0	0.0%



問21 障がいのある方の「災害時の避難支援ハンドブック」にのせてほしい内容を自由にご記入ください。
・私は足と股関節が悪く地べたに座ったりかがんだりができないので 35～40 くらいのイスやベッドのある場所がわかると助かります。
・おトイレにかんすること。
・障がいの程度に合わせた対応の方法を詳しく記して欲しい。
・発達障害者の特性についての説明や関わり方についてのせてほしい
・のみもの・食べ物あるといいです。
・なにがニガテ、出来る、こうしてほしいなど障害特性に応じた配慮、支援のポイント
・分かりやすいこと
・災害時の電話番号
・字が読めないので絵が多いと分かりやすいです。
・絵カードをつけてほしい
問22 災害が起きた時や地域での支え合いについて意見があれば自由にご記入ください。
自由記載：
・丁寧な声かけや親身になって対応してくれたら嬉しい。
・普段のかかわりあいのない方との交流が苦手なため、災害時に避難しなければならなくなった場合の状況が想像できないというか、たぶん誰ともほとんど関われないと思います。不機嫌にもなると思われます。そのような状態になっても障がい特性としてまわりの方には理解していただければと思います。
・一緒に行くことです。
・週2回避難訓練を行う

障がい当事者の皆さまへ

「災害時の避難と地域での支え合いに関するアンケート」

このアンケートは、障がいのある方やそのご家族等が、災害のときに安心して避難し、地域の中で支え合いながら暮らし続けられる地域づくりを進めるために実施するものです。

回答いただいた内容は、次の目的に活用します。

① 障がいのある方の「災害時の避難支援ハンドブック」の作成

② 地域での支え合いや避難支援体制づくりの検討

③ 第5期登別市地域福祉実践計画「きずな」の策定

皆さまの声をもとに、「災害時だけでなく、ふだんからつながり支え合える地域」を目指していきます。

回答内容は統計的に整理し、個人が特定される形では公表しません。皆さまの率直な声をお聞かせください。

障がい当事者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族が代筆してください。

登別市障害者福祉関係団体連絡協議会

きずな推進委員会

社会福祉法人 登別市社会福祉協議会

※全部で22の質問があり、答えるのに15分くらいかかります。

調査期間 令和8年8月3日～令和8年8月21日まで

書き終わったら、このアンケートをもらった人に渡してください

■あなたについて

問１　性別を教えてください。（１つ）

１．男性　　２．女性　　３．その他（　　）　　４．回答しない

問２　年齢を教えてください。

＿＿＿＿＿　歳

問３　住んでいるところは何町ですか。

＿＿＿＿＿＿　町

問４　もっている障がい等を教えてください。（いくつでも）

１．身体障がい　　２．視覚障がい　　３．聴覚障がい

４．知的障がい　　５．発達障がい　　６．精神障がい

７．医療的ケアが必要　　８．難病　　９．その他（　　）

問５　誰と暮らしていますか。（いくつでも）

１．父親　　２．母親　　３．兄

４．弟　　５．姉　　６．妹

７．祖父　　８．祖母　　９．子、孫

10．いない（ひとり暮らし）　　11．その他（　　）

問６　障害手帳の区分を教えてください。（いくつでも）

１．身体障害者手帳

（１級　・　２級　・　３級　・　４級　・５級　・　６級　・　７級　）

２．療育手帳（　Ａ　・　Ｂ　）

３．精神障害者保健福祉手帳（　１級　・　２級　・　３級　）

４．診断は受けているが手帳は持っていない

問７　障害支援区分を教えてください。（１つ）

１．非該当（受けていない含む）　２．区分１　３．区分２

４．区分３　５．区分４　６．区分５　７．区分６

問８　ふだん、よく過ごす場所はどこですか。（いくつでも）

１．自宅　２．就労支援事業所　３．一般就労先

４．学校　５．デイサービス　６．ショートステイ

７．生活介護　８．その他（　　）

問９　平日の昼間、ひとりになる時間はありますか。（１つ）

１．よくある　２．時々ある　３．あまりない　４．ほとんどない

■災害への不安について

問10　家にいるときに、特に不安な災害を教えてください。（いくつでも）

1．地震　2．津波　3．大雨・洪水

4．土砂災害　5．停電　6．火災

7．台風・暴風　8．火山噴火　9．大雪・豪雪

10．その他（　　）

11．わからない

問11　家にいるときに災害が起きたら、困ると思うことを教えてください。

（いくつでも）

1．災害や避難の情報が分からない　2．助けを呼ぶことができない

3．自分で避難場所まで移動できない　4．寒さ・暑さへの対応が難しい

5．薬や医療的ケアが続けられない　6．食料や飲み水が足りなくなる

7．トイレが使えなくなる　8．家族や支援者と連絡が取れない

9．助けてくれる人が近くにいない　10．不安が強くなる

11．周りの人に自分のことを理解してもらえない

12．家で暮らし続けられるか心配　13．特にない

14．わからない

15．その他（　　）

問12　避難所で生活するときに困ると思うことはありますか。（いくつでも）

1．人が多い場所が苦手
2．環境の変化がつらい
3．落ち着ける場所がない
4．トイレが使いにくい
5．介助・支援を受けられるか不安
6．薬や医療機器の管理
7．電源の確保（充電・医療機器等）
8．食事があわない
9．人と話したり気持ちを伝えたりすること
10．眠れない
11．障がいを理解してもらえるか不安
12．体調が悪くなること
13．ひとりになれる場所がない
14．感染症が心配
15．家族や支援者と離れること
16．ペットのこと
17．避難所の使い方が分からない
18．特にない
19．わからない
20．その他（　　）

問13　災害時だけでなく普段の生活で困っていることを教えてください。

（いくつでも）

1．地域とのつながりが少ない
2．相談先が分からない
3．外出が難しい
4．暮らしの情報が入りにくい
5．緊急時に頼れる人がいない
6．周囲に理解が得られない
7．特にない
8．その他（　　）

■災害が起きたときの備えについて

問14　災害に備えておこなっていることはありますか。（いくつでも）

1．非常持出袋を準備している　　2．食べ物や飲み物を備蓄している

3．薬を多めに準備している　　4．家族との連絡方法を確認している

5．避難場所を確認している　　6．非常用携帯トイレを準備している

7．助けてくれる人を決めている　　8．特にしていない

9．わからない　　10．その他（　　）

問15　災害時に支援をお願いできる人はいますか。（いくつでも）

1．近所の人　　2．民生委員　　3．事業所の職員

4．町内会　　5．家族　　6．いない

7．その他（　　）

8．わからない

問16　災害が起きた時の避難方法や支援内容を一人ひとりのためにまとめる

「個別避難計画」というものがあることを知っていますか。（1つ）

1．作成済み　　2．聞いたことはある　　3．知らない

■地域とのつながりについて

問17　地域とのつながりを感じますか。（1つ）

1．とても感じる　2．少し感じる　3．あまり感じない　4．感じない

問18　地域でどのような助け合いがあると安心ですか。（いくつでも）

1．声かけ
2．見守り
3．避難の手助け
4．災害情報を教えてくれる
5．日頃からの交流
6．気軽に相談できる場所
7．福祉サービスとのつながり
8．わからない
9．その他（　　）

問19　地域住民に障がいや実情を理解してもらうために必要と思う取り組みを教えてください。（いくつでも）

1．防災訓練への参加

2．地域のお祭りへの参加

3．イベント等のお手伝い

4．地域の見守り、声かけ活動への参加

5．清掃、花植えなどの環境美化活動への参加

6．こどもとの交流活動

7．高齢者との交流活動

8．地域の困りごとを話し合う場

9．福祉について学ぶ講座、交流会の開催

10．得意なことを活かせる活動の参加

11．ＳＮＳやＬＩＮＥ等を活用したつながりづくり

12．特にない

13．その他（　　）

問20 地域活動に参加しやすくなるには何が必要と思いますか。（いくつでも）

1．情報が分かりやすいこと　　2．配慮があること

3．支援者が同行してくれること　　4．短い時間での参加でいいこと

5．近くで開催されていること　　6．一緒に参加する仲間がいること

7．オンラインで参加できること　　8．わからない

9．その他（　　）

■これからについて

問21 障がいのある方の「災害時の避難支援ハンドブック」にのせてほしい内容を自由にご記入ください。

問22 災害が起きた時や地域での支え合いについて意見があれば自由にご記入ください。

アンケートはこれで終わりです。ご回答ありがとうございました。